

質 問 通 告 書

令和6年9月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質 問 要 旨	答弁要求者
1	門 馬 功 (60分) 【一問一答】	<p>1 外国人の就労支援について</p> <p>(1) 6月14日に「出入国管理及び難民認定法及び外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律の一部を改正する法律」が参議院本会議で可決され、成立した</p> <p>改正法は、2027年度までに施行される見通しであり、技能実習制度に代わり、育成就労制度を創設した</p> <p>育成就労制度の概要と今後の外国人の就労にどのような影響があるのか伺う</p> <p>(2) 外国人市民等支援本部が令和6年度の基本方針で掲げる、外国人の就労に関わる新規事業について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 育成就労制度の勉強会を企画し、市内の各事業所が新制度への対応を遅滞なく整えるよう支援するとしているが、その概要と進捗状況を伺う ・ 外国人就労者の地域交流を促進するため、交流促進の機会を提供する企業に対し奨励金を交付する「外国人就労者地域交流促進事業」を新設したが、その概要と進捗状況を伺う ・ 来日してから間もない市内企業で働いている外国人就労者と市長との懇談会を開催し、外国人の現状や困り事など、自由に意見交換する機会を創設するとしているが、その概要と進捗状況を伺う ・ 外国人就労の働きやすい職場環境づくりを支援するため、企業が実施する研修会等に要する経費に対して補助する「外国人市民等にやさしい職場環境づくり支援事業費補助金」を新設したが、その概要と進捗状況を伺う ・ 外国人就労者は日本語の習得が難しいと感じていることから、日本語学校の誘致を進めるため、学校跡地の情報提供や設置に係る支援を行うとしているが、その概要と進捗状況を伺う 	市 長
		<p>2 林業振興の推進について</p> <p>(1) 令和3年9月に「地元の森林を活かす一関市林業振興条例」が制定され、市は、林業振興の推進に関する施策を計画的に推進するため、令和4年10月に「林業振興の推進に関する基本指針」を策定した</p> <p>基本指針では、林業振興の推進に関する目標を達成するため、7つの取組方針に基づき、林業振興に取り組むとしているが、次の3つの取組方針について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「市産材の利用推進」で掲げる、森林所有者の収入を増加させるための市産材の利用推進に係る具体的な取組について伺う ・ 「森林の整備と適正な保全」で掲げる、森林整備に係る費用低減と森林の適正な保全を図るための具体的な取組について伺う ・ 「森林整備の担い手確保と育成」で掲げる、持続的な森林経営の確立と森林整備の担い手の確保、育成のための具体的な取組について伺う <p>(2) 市町村における森林整備や人材育成や担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の「森林整備及びその促進に要する費用」に充てるため、令和元年度から森林環境譲与税が一関市にも譲与されているが、次の2点を伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度から令和5年度の譲与額 ・ 令和5年度の譲与税充当事業 	市 長

質 問 通 告 書

令和6年9月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質 問 要 旨	答弁要求者
2	永澤由利 (50分) 【一問一答】	1 一関市立小中学校への学区外就学の許可事由の見直しについて (1) 一関市立小中学校への学区外就学の許可事由の見直しについて伺う	教 育 長
		2 医療的ケア児への支援について (1) 医療的ケア児保育支援事業の現在の実施状況について伺う (2) 医療的ケア研修受講の支援について伺う	市 長
		3 畜産農家支援策の拡充について (1) 繁殖牛市場価格は、これまでにない安値が続いている 生産者が悲鳴を上げている現状について、支援策の拡充が必要だと考える がいかがか (2) 酪農家においても飼料の高騰に対する支援が求められているが、現状の 把握とそれに対する支援策を伺う (3) インボイス制度の導入に関する所感を伺う	市 長
3	千葉信吉 (60分) 【一問一答】	1 有害鳥獣被害対策の取組について (1) 有害鳥獣による被害の状況は (2) 熊出没の要因と属性含め市民へ周知・喚起の取組は (3) 学校周辺での熊出没対策と児童への対応は (4) アーバンベア化した熊の駆除の考えとその対策は (5) 鳥獣被害対策実施隊の現状は (6) 鳥獣被害対策実施隊の意見・要望からどのような改善が図られているの か (7) 鳥獣被害に対してどのような手だてを講じているのか、またその効果は (8) 有害鳥獣被害の削減に向けたさらなる対策の強化に関する取組の考えは	市 長 教 育 長
		2 地域公共交通の維持・継続の取組について (1) 一関市公共交通会議の構成メンバーとその協議内容、またどのような改 善が図られているのか (2) 市営バス、民間バス、デマンド型乗合タクシー等地域交通の現状は (3) 乗務員不足による影響をどのように捉えているのか、またその対応の考 えを伺う (4) 行政、事業者と利用者（特に自動車運転免許証返納含め）相互間の意 見・要望等の集約はどのように行われているのか、またその対策は (5) 大東地域における市民によるコミュニティ・カーシェアリングの実証実 験の状況、また利用者の反応は (6) 東北新幹線と各在来線との接続時間の見直しが必要と考えるがいかがか (7) JR大船渡線の利用促進と沿線住民の日常的な利用喚起をどのように取 り組んでいくのか (8) 持続可能な地域公共交通維持に向けたさらなる取組が必要と考える 具体の考えを伺う	市 長

質 問 通 告 書

令和6年9月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質 問 要 旨	答弁要求者
4	齋藤 禎 弘 (40分) 【一問一答】	<p>1 官製談合について 今年の5月28日と6月19日にそれぞれ、市の元職員と現職の職員が、官製談合防止法等の容疑で相次いで逮捕、その後、起訴された 市長は、入札制度等改革本部の挨拶で所掌事務を、①職員の法令順守、②入札制度の見直し、③不適切入札の排除、④職員と組織のモチベーションの維持向上を目指すとした 談合はあってはならないものであり、管理者の責任は極めて重大である (1) 現職の職員が逮捕された6月の事件は、入札情報を伝えた職員へ飲食接待等の見返りが無いもとの、この事件に係る工事や入札の背景について、市の認識を伺う (2) 入札制度等改革本部の中間報告の重要点について伺う</p> <p>2 農地の違反転用について 今年の2月2日に開催された議員全員協議会において、農地法違反の疑いがある農地を市内で110筆、およそ16.3ヘクタール存在し、そのうち、79筆、およそ13.8ヘクタールが農業振興地域の整備に関する法律(以下、農振法という)に違反している疑いがあることを明らかにした その後、3月8日に、市から県に対し違反転用報告書を提出し受理された 市の調査では、この農地法違反の転用は2014年以降に提出された農地現状変更届から確認されたとしている (1) 農地法及び農振法違反の農地がこれまで容認されてきた理由を伺う (2) 農地法及び農振法違反の農地が発生した責任の所在について伺う (3) 責任の所在が明らかになっていない段階で、中山間地域等直接支払交付金の返還をなぜ求めるのか、その理由を伺う</p>	市長
		<p>3 放課後児童クラブについて 放課後児童クラブは、「安心して働きつづけたい」、「子どもに豊かな放課後や学校休業日を過ごさせたい」という保護者の切実な願いから生まれ、労働等の理由により、保護者が昼間家庭にいない小学生の「生活の場」となっている (1) 放課後児童クラブにおける、障がい児の受入状況について伺う (2) 障がい児の支援に当たる放課後児童支援員の人数について伺う (3) 障害児受入推進事業の要領には、障がい児の認定について、「医師、児童相談所、発達障害者支援センター等公的機関の意見等により」とあり、これらの書類の提出が必要であるが、これが保護者や施設の負担となっている これを支援学級等に在籍していればこれらを不要とすべきと考えるのがいかがか伺う</p>	市長

質 問 通 告 書

令和6年9月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質 問 要 旨	答弁要求者
5	岩 淵 優 (5 0 分) 【一問一答】	1 「有機フッ素化合物 (PFAS) 」の調査について (1) 一関市として水道水の検査計画はあるか伺う (2) 検査結果の公表時期と方法について伺う	市 長
		2 「RSウイルス感染症ワクチン」の接種について (1) ワクチン接種費用の助成を行い、市民の経済的負担を軽減するとともに、RSウイルス感染症の予防に取り組む考えはないか伺う	市 長
		3 閉校した学校等の活用状況について (1) 閉校した小学校・中学校は、産業用地として活用するとしているが企業誘致活動の状況について伺う (2) いつまでに企業誘致するなどの目標達成時期について伺う	市 長
		4 「地域計画」について (1) 地域計画策定の進捗状況と課題について伺う (2) 地域計画策定後の取組が重要であると考えているが、行政はどのように進めようとしているのか伺う	市 長
6	千 田 恭 平 (6 0 分) 【一問一答】	1 一ノ関駅東口の利活用について (1) NECプラットフォームズ株式会社一関事業所跡地利活用の検討状況を伺う ・ 一ノ関駅東口イノベーション構想検討委員会の中間報告の時期の見通しについて ・ 委員会への条件はあるのか (2) 一ノ関駅東西自由通路整備に係る検討状況を伺う ・ 現在のJR東日本との協議の状況と今後の見通し ・ 2つの調査案	市 長
		2 健康保険証廃止への対応について 令和6年12月2日に廃止予定の健康保険証について伺う (1) 医療機関におけるマイナンバーカードの健康保険証のカードリーダーの導入状況は (2) マイナンバーカードを持たない方への対応は	市 長
		3 当市の情報発信について (1) 国外への発信について伺う ・ 8月15日から20日の市長のオーストラリア出張について、なぜこの時期になったのか、目的と行程内容、同行者とその役割、費用と内訳、成果と今後の展開は ・ 台湾、ベトナムとのこれまでの取組と、今後の展開について伺う (2) 国内への発信について伺う 地域おこし協力隊やいちのせき大使などの市外の方への協力依頼状況とそれらの方に期待するもの、今後の展開は (3) 合併後に閉校した学校跡地の活用の現況、市内の工業団地の整備の状況について伺う	市 長

質 問 通 告 書

令和6年9月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質 問 要 旨	答弁要求者
7	岩 渕 典 仁 (50分) 【一問一答】	<p>1 小学・中学校の適正規模・適正配置について</p> <p>文部科学省は、小・中学校では一定の集団規模が確保されていることが望ましいとして、平成27年1月に「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」を策定した</p> <p>国が定める基準は、「特別な事情があるときはこの限りではない」とされている弾力的なものであり、義務教育の機会均等や水準の維持・向上の観点も踏まえ、総合的な判断もあり得ると通達をしている</p> <p>当市においては、こうした手引や通達を参考としながら、それぞれの地域の実情に応じた、最適な学校教育の在り方や学校規模を検討する必要がある</p> <p>(1) 小学・中学校の児童・生徒数の推移</p> <p>(2) 複式学級の現状と課題</p> <p>(3) 小学・中学校校舎の経過年数と改築・改修</p> <p>(4) 小学・中学校の適正規模・適正配置</p>	教 育 長
		<p>2 健康づくり政策について</p> <p>高齢化の進展による医療費・介護給付費の増加が懸念されており、地方公共団体においては、生活習慣病予防や介護予防に向けた市民の健康づくりのための施策が行われている</p> <p>しかし、ある大学の調査によると対象者の7割は、今後も健康づくり（運動）を開始する意思のない「健康無関心層」であることが報告されており、従来の健康づくり施策が届かない健康無関心層に対する働きかけが課題となっている</p> <p>当市においても、健康無関心層に対する働きかけにより、市民の健康寿命の延伸と、それによる医療費・介護給付費の適正化を目指す必要がある</p> <p>(1) 一人当たり年間医療費・介護給付費の推移</p> <p>(2) これまでの健康づくり政策の成果と課題</p> <p>(3) 今後の健康づくり政策</p>	市 長

質 問 通 告 書

令和6年9月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質 問 要 旨	答弁要求者
10	沼 倉 憲 二 (6 0 分) 【一問一答】	<p>1 適切な農地管理と市及び市農業委員会の役割について 市内に点在する石灰の石や砂で盛土され、耕作できない農地が 16.3 ヘクタール発生している</p> <p>(1) 中山間地域等直接支払交付金などの返還について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 盛土農地問題発生の経過と市及び市農業委員会の責任をどのように考えるか伺う ・ 市は、交付金の全額を協定集落等に返還を求める方針を示しているが、市及び市農業委員会の具体の責任度合いが示されていない 何をもって責任を示すのかを伺う ・ 今後、9月通常会議に返還金を予算計上し、10月に協定の代表者宛てに返還金の納付書を送付し、令和7年3月を納入期限とする予定となっているが、責任問題が不明確である中でのこの進め方は、一方的で問題であり、拙速であると考え さらに、新年度予算に返還金相当分を歳入として計上するのか一連の対応を伺う ・ 市及び市農業委員会の明確な責任を明らかにして、協定集落等や施工業者や盛土材提供者の理解を得て、それぞれの責任により負担し合うことが解決につながると考えるが、その考えはないか伺う <p>(2) 原状回復について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市の試算によると全量撤去した場合 27 億 7,290 万円、盛土の上に表土をかぶせ農地性を回復すると 1 億 9,840 万円かかるとなっている 農地法上原状回復が原則となっているが、いずれの方法でも多額の費用負担であり、農地性を回復できてもその後の利用が不明な中では、国や県に実態を説明し例外として現状追認あるいは次善の策など負担の軽減を要望すべきではないかと考えるが市及び市農業委員会の考えを伺う <p>(3) ますます増加する耕作放棄地の適切な管理について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業就業者の高齢化や農業経営の困難が進む中で、ますます耕作放棄地の増加が進み、イノシシなどの害獣が増え地域の景観を悪くする現状をもたらしていることから、適正な農地管理が一層重要と考えるが、農業委員会の役割と対応策をどのように考えているか 	市 長 農業委員会 会長
		<p>2 増加する不登校児童生徒への対応について 全国の小中学校の不登校児童生徒は、令和4年で約 30 万人となっており、前年度に比べ 22%増え、過去最多となっており、10 年連続で増加している 将来を担う児童生徒の健全な成長を願う者として、強い危機感を持ち、目に見える対策が必要と考える</p> <p>(1) 全国的に不登校児童生徒が年々増加し、大きな社会問題となっているが、市内の状況と傾向について伺う</p> <p>(2) 不登校児童生徒が増える要因・背景をどのように捉えどのように対応しているのかを伺う</p> <p>(3) 既存の教育システムが時代に合わなくなっているのではないかと、多様性や個性を伸ばす教育への転換が必要と考えるがその点について伺う</p>	教 育 長

質 問 通 告 書

令和6年9月

		<p>3 市の病院事業の現状と今後の展望について</p> <p>平成5年に開院した藤沢病院も30年が経過し病院を核とした8つの事業による病院事業は、包括ケアの全国のモデルケースとなっている</p> <p>(1) 30年が経過し人口減や高齢化などによって取り巻く状況が大きく変化している中で病院事業の現状をどのように捉え、対応しているのかを伺う</p> <p>(2) 2月に藤沢地域で開催された将来に向けた病院事業の在り方についての住民説明会の中で将来を見据えた病院事業の在り方が示されたが、その内容について伺う</p> <p>(3) 特に地域で安心して生活できるためには病院が継続して医療を担う体制を維持することが重要と考えるが、そのための対策を伺う</p>	市長
11	佐藤敬一郎 (60分) 【一問一答】	<p>1 農業委員会の改革・改善について</p> <p>農業委員会は地域農業者の公的代表で構成される独立した行政委員会であり、農業・農村の振興のため、農業者が自主的に考え、決定し、実践することにあります</p> <p>現場での農地制度の運用を担うことはもとより、地域農業の維持発展に寄与することが求められており、農業委員会の役割はますます重要性を増しております</p> <p>(1) 農業委員会の組織が旧態依然としており、新しい農業委員の要望や意見が反映されない、民主的な議論ができないなどの指摘があり、改善が必要と考えるがいかにか伺う</p> <p>(2) 農業委員会活動の点検・評価・公表の取組の徹底を行うべきと考えるがいかにか伺う</p> <p>(3) 農業委員の権限・責任等の業務の役割を明確に示し、委員と委員会の業務評価を行うべきと考えるがいかにか伺う</p> <p>(4) 農業委員会の運営の決定プロセスが秘密主義に陥り、透明性に欠けるといふ指摘があるがいかにか伺う</p> <p>(5) 新規参入者への門戸が狭いという指摘があるがいかにか伺う</p>	市長 農業委員会 会長

質 問 通 告 書

令和6年9月

	<p>2 中里市民センターの工事について 中里市民センター建設工事は現在、休止したままとなっており、いつ再開できるか見当がつかない状況である 中里市民センターでは、事業を行うための仮設のプレハブを建設することが8月臨時会議で承認された この中里市民センターの設計は、盛岡市の設計事務所が行ったものであるが、設計に不備があり再度実施設計をしなければならないと危惧されることから次の6点を伺う</p> <p>(1) この盛岡市の設計事務所は、地震で大きな被害を受けた前公民館の耐震補強設計を行った設計事務所であり、このような設計事務のよしあしは判断できたと思うが、なぜ排斥できなかったのか、なぜ受注できたのか伺う</p> <p>(2) 基本計画や基本設計はどこが行ったのか伺う</p> <p>(3) 開示された図面を見ると、鉄筋量の増が散見されるが、変更で何トンの鉄筋が増えるのか伺う</p> <p>(4) 柱を太くしないとコンクリートが入らずにジャンカとなるおそれがあるが、どう対処するのか伺う</p> <p>(5) 柱やはりの部材厚が増えることによって、建物の重量が増加すると思われる くいには既に施工済みであり、荷重の増加によりくいはもたないのではと危惧されるが、どう対処するのか伺う</p> <p>(6) この施設は高齢者や足の不自由な方などが多く利用する施設であり、またこの地域は水害の可能性のある場所であることから2階への避難が重要となってくる ぜひエレベーターの設置ができないか伺う</p>	<p>市 長</p>
	<p>3 虹の学園への支援について 不登校の生徒や児童33人が通う虹の学園、教育スタッフ10人、地域スタッフ25人で構成されており、ほとんどがボランティアです 選択学習や全員参加の学習、学習内容や学園のルール等を話し合う討論会など子供たちはみんな生き生きと生活しております</p> <p>(1) 保護者の負担を幾らかでも緩和するため、授業料や交通費への市から保護者への補助はできないか伺う</p> <p>(2) 学園のスタッフはみんなボランティアであり、市から学園への補助はできないか伺う</p> <p>(3) 地域の活性化を図るため、虹の学園と地域、特に市民センターの応援が必要と思われる 市民センターと一体となり行事を行うことができないか伺う</p> <p>(4) 不登校の子供たちが増えている中、虹の学園の子供たちの中には学校に登校したいと意向を示す子供がいる 各学校の空き教室を利用して不登校児童生徒の支援学級をつくれぬか伺う</p> <p>(5) 不登校生徒への進学に対する相談やアドバイスはどのように行っているか伺う</p>	<p>市 長 教 育 長</p>

質 問 通 告 書

令和6年9月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質 問 要 旨	答弁要求者
12	岡田もとみ (40分) 【一問一答】	<p>1 有機農業の促進について 有機農業は、農作物本来の成長速度で育てる農業形態である 化学肥料・農薬を使わない有機農作物は、環境に優しく安全で、栄養価が高く健康によいことから、有機農業への積極的な支援が求められている</p> <p>(1) 「ネオニコチノイド系」農薬の使用による人体や生態系への影響について、どのように捉えているか伺う</p> <p>(2) 有機農業の裾野を広げる取組が求められている 生業及び家庭菜園への補助事業を行うべきと考えるがいかがか</p> <p>(3) 有機農業の拡大のためには、安定した販路の確保が必要である 学校だけでなく、保育園・こども園・幼稚園の給食に地元の有機米、有機農産物を採用する考えはないか伺う</p>	市長
		<p>2 不登校の児童生徒への支援について 文部科学省は、不登校児童生徒への支援に対する基本的な考え方として、「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではないことを通知している</p> <p>(1) 既存の学校教育になじめない児童生徒の学びの場の確保として、フリースクールは重要な役割を果たしていると考えますが、市の認識を伺う</p> <p>(2) フリースクールの運営について、公民連携で支援が必要ではないか また、フリースクールに通う児童生徒に対しても、何らかの支援や援助が必要だと考えるがいかがか</p>	市長 教育長
		<p>3 教師を取り巻く環境整備について 教員不足が深刻な社会問題となっている中、教職員の労働環境の改善は喫緊の課題である 教員が不足している原因の一つとして教師の成り手自体の減少が指摘されており、その最も多い理由は長時間労働など過酷な労働環境が挙げられているとのこと 今後、教職員の健康を確保し、質の高い教育活動を維持していくためには、教員を増やしていくことが必要だと考えるが、そのためにも長時間勤務の問題を解決することは急務であることから、当市の取組について伺う</p>	教育長

質 問 通 告 書

令和6年9月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質 問 要 旨	答弁要求者
13	那 須 勇 (60分) 【一問一答】	<p>1 図書館運営の充実について</p> <p>日本図書館協会発行の統計書(令和4年4月の統計)によると一関市立図書館は、全国と同規模自治体との比較で、人口1,000人当たりの蔵書数は1位、資料費予算額は2位、個人貸出冊数は24位となっている</p> <p>このことは、一関市立図書館施設の充実ぶりがうかがえる素晴らしいことであり、図書館職員をはじめ、8つの市立図書館が、大切にそろえてきた蔵書を、多くの市民の皆様にご利用していただけるよう様々なサービスに取り組んだ成果であり、誇れることである</p> <p>(1) 一関市立図書館振興計画後期サービス計画期間が令和3年度から令和7年度までとなっているが、現時点で図書館運営基本目標に対する成果をどのように捉え、評価しているか伺う</p> <p>(2) 市立図書館と学校図書館の図書購入費と蔵書数の推移について伺う</p> <p>(3) 市立図書館の貸出冊数の推移について伺う</p> <p>(4) 電子図書の活用状況について伺う</p> <p>(5) レファレンスサービスの活用状況について伺う</p> <p>(6) 一関図書館創立100周年記念事業及び新館10周年記念事業の取組状況を伺う</p> <p>(7) 千厩図書館の2階床補強及び閉架書庫改修に係る進捗状況を伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事中の利用者の安全はどのように確保するのか 	教 育 長
		<p>2 学校と地域の連携について</p> <p>学校と地域は、お互いの役割を認識しながら共有した目標に向かって共に活動する協働関係を築くことが重要であり、パートナーとして相互に連携・協働していくことを通じて、社会総がかりで子供たちを育て教育の実現を図っていくことが必要と考える</p> <p>(1) 地域との連携・協働について市の考えを伺う</p> <p>(2) 学校統合により現在市内には小学校21校、中学校14校あるが、地域との連携についてどのように取り組んでいるか伺う</p>	教 育 長
		<p>3 学校プールの現状について</p> <p>全国的に学校でのプール事故、小中学生の水難事故が発生している</p> <p>市では文部科学省が策定した学習指導要領に基づき水泳指導・水泳学習に取り組んでいると思うが、次の4点について伺う</p> <p>(1) 学習指導要領に基づく水泳学習の内容と事故発生時の教育委員会の対応</p> <p>(2) 学校プールの設置状況と利用状況</p> <p>(3) 夏休み中のプールの管理体制</p> <p>(4) 年間の維持管理費とプールの老朽化に伴う整備の考え</p>	教 育 長

質 問 通 告 書

令和6年9月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質 問 要 旨	答弁要求者
14	佐藤真由美 (40分) 【一問一答】	1 自死対策について 全国的に自殺死亡率は減少傾向にあり、一関市の自殺死亡率も低下している さらに自殺死亡率を低下させるために、自死を防ぐための具体的な取組について伺う	市長
		2 新型コロナウイルス感染症対策強化について 新型コロナウイルス感染症が令和5年5月に5類に移行したが、現在、一関市でも感染拡大傾向にある 10月より65歳以上の高齢者や基礎疾患のある方への定期接種が予定されているが、新型コロナウイルス感染症対策を強化する考えはないか伺う (1) 新型コロナワクチン接種に係る補助金について伺う (2) 新型コロナウイルス感染症治療薬への助成の考えはないか伺う (3) クラスターが発生しやすい高齢者施設や教育施設に抗原検査キットを配布する考えはないか伺う	市長
		3 带状疱疹発症対策強化について 带状疱疹予防接種が令和5年7月から始まったが、带状疱疹発症対策を強化する考えはないか伺う (1) 带状疱疹予防接種の内容について伺う (2) 带状疱疹予防接種の対象年齢の引下げ、5歳刻みを撤廃する考えはないか伺う (3) 带状疱疹予防接種費用への助成額を引き上げる考えはないか伺う	市長
		4 農地現状変更等に係る一関市と石灰業者との公害防止（環境保全）協定について (1) 公害防止（環境保全）協定の履行状況について伺う (2) 石灰業者は鉱山保安法施行規則第11条に抵触していないか伺う	市長
15	菅原行奈 (60分) 【一問一答】	1 犬猫保護（飼養や多頭飼育崩壊防止）について (1) 市で取り組まれた犬猫の保護（飼養や多頭飼育崩壊防止）や啓発活動について伺う (2) 犬猫保護（飼養や多頭飼育崩壊防止）の視点は、市民意識の向上が必要と思われるが、今後の啓蒙啓発の計画について伺う	市長
		2 農業振興について (1) 農地現状変更等の問題は、農業の担い手不足から来ていると思う 担い手不足の解消に対する市の手だてを伺う (2) 担い手不足の課題は、農業で十分な収入が得られないという命題があると思うが、農業収入に対する市の対策を伺う (3) 市として、今後農地を守っていくことの課題に対して、どのように向き合っていくのかを伺う	市長